

高校2年生
高校1年生

全3コース。すべて合格への最短距離を目指したカリキュラムです。

12/3 »29 授業時間 12/3~21 17:00~20:00
12/24~29 9:30~16:30



学カスキャン
英語・国語 (合計60分)
講習会中に、
みなさん **参加者全員!!** の学力を
チェックします。(詳細は次ページ)

忘れちゃいけない!
学科対策

高2 / 高1生
初心者コース

17:00 ~ 20:00 | 9:30 ~ 16:30

3月	4火	5水	6木	7金	10月	11火	12水	13木	14金	17月	18火	19水	20木	21金	24月	25火	26水	27木	28金	29土
----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

受講日と課題を自由に選べます!

学カスキャン

▲予定自己確認用チェック欄 (申込書と同じようにチェックしてください)

1日3時間。受講日に合わせて下記課題から希望するものを選択してください。各課題の詳細は次のページをご覧ください。

各科共通デッサン課題	ハイコントラスト 3時間	リアルパーツ 6時間	光を描く 6時間
ファイン系専門課題	フィンガーデッサン 3時間	リアルキューブ 6時間	触って着彩 6時間
デザイン系専門課題	透明感 3時間	3D 3時間	グラデーション 6時間

デッサン

鉛筆デッサン
または
木炭デッサン

26日 13:30 ~ 講評会

デッサン (静物)

鉛筆デッサン
または
木炭デッサン

29日 13:30 ~ 講評会

校内生
または
経験者の方

レギュラーコース

高1生の方でこのコースに参加されたい方は、ご相談ください。

17:00 ~ 20:00 | 9:30 ~ 16:30

3月	4火	5水	6木	7金	10月	11火	12水	13木	14金	17月	18火	19水	20木	21金	24月	25火	26水	27木	28金	29土
----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

油絵	デッサン(石膏胸像) 木炭デッサン [用紙・サイズ] 木炭紙 7日 17:00 ~	専門課題① 油彩 [支持体] F15キャンバス 14日 17:00 ~	入試体験 採点あり 油彩 [支持体] F15キャンバス 21日 17:00 ~	専門課題② 油彩 [支持体] F15キャンバス 26日 13:30 ~	静物モチーフ課題 油彩または木炭デッサン 29日 13:30 ~			
	日本画 鉛筆デッサン [用紙・サイズ] 木炭紙大画用紙					油彩 静物着彩 [用紙・サイズ] P20画用紙	油彩 静物着彩 [用紙・サイズ] P20画用紙	油彩または鉛筆デッサン 着彩または鉛筆デッサン
	彫刻 木炭デッサン [用紙・サイズ] 木炭紙					塑造 [素材] 水粘土	塑造 [素材] 水粘土	木炭または鉛筆デッサン 木炭または鉛筆デッサン
	デザイン 工芸 鉛筆デッサン [用紙・サイズ] 木炭紙大画用紙					色彩構成 [用紙・サイズ] B3画用紙	色彩構成 [用紙・サイズ] B3画用紙	鉛筆デッサン 鉛筆デッサン

▲「入試体験」についての詳細は次のページをご覧ください。

本格的に
入試レベルで
力をつける
2年特進
コース

受験生に合流して入試対策を行います。
受験生と同じ緊張感のあるアトリエで制作できるコースです。

このコースは受験生と同じカリキュラムになります。
受講料は【高校3年生・既卒生】の欄をご確認ください。

講評会 (全科共通)とは

みなさんの作品を並べてそれぞれにコメントをします。他の人の作品との違い、講師の言葉、すべて次の作品づくりへのヒントになります。




今の時期だからやっておきたい専門課題

受験に直結する大切な課題です。興味のある課題を選んで受講してください。

【高2/初心者コース・高1生コース】専門課題一覧

ハイコントラスト

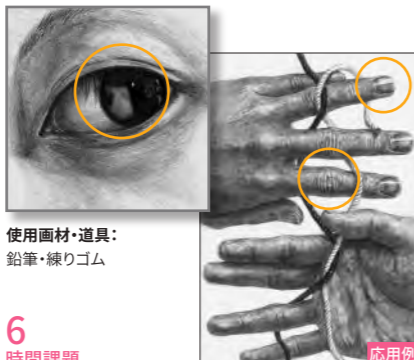


使用画材・道具：
鉛筆・練りゴム

3
時間課題

モチーフにあたる光と陰の境目となる「稜線」を理解することで、モチーフの立体感、量感を表現できます。石膏像がモチーフとなること多い東京藝大をはじめ、すべてのデッサンの基本です。

リアルパーツ




使用画材・道具：
鉛筆・練りゴム

6
時間課題

人体の一部分を丁寧に観察し、描写します。細部を描き切れることはデッサンのフィニッシュワークとして不可欠です。この課題を通して1段階の上の観察力、描写力が身に付きま

光を描く



使用画材・道具：
鉛筆・練りゴム
白コンテ

6
時間課題

色のついた紙に、デッサンをします。普段のデッサンでは白い地がイコール光（明るい）となるため、つい暗い部分にのみ鉛筆や木炭がのりがちですが、紙に色がつき、白い画材で明るい部分を描くことで、モチーフの立体感を理解しやすくなります。

フィンガーデッサン(木炭デッサン道具)



使用画材・道具：
木炭・鉛筆

3
時間課題

木炭を粉にして、指で描きます。細部を描けないため、描く対象を大きな明暗や、ボリューム感、印象で捉えることができます。さらに木炭の持つ幅広いトーンを実感できるため、デッサンでの調子の幅をぐんと広げることができます。

リアルキューブ(油彩・着彩道具)



使用画材・道具：
透明水彩・アクリル絵具

6
時間課題

立方体に、モチーフの表情をリアルに描写します。形態が変わっても、モチーフに近づけていく描写力を養います。日本画の着彩だけでなく、東京藝大デザイン科・工芸科の色彩構成にも役立ちます。

触って着彩



使用画材・道具：
透明水彩・アクリル絵具

6
時間課題

手の触覚でモチーフの形や色、質感をイメージします。絵画系の科では観たままの印象で表現するだけでなく、作者がそこからどのような想像力を働かせているかが問われます。この課題では既成概念にとらわれない感覚を養います。

透明感



使用画材・道具：
アクリル絵具

3
時間課題

色彩構成での透明表現は、早い段階でマスターしておきたい技法の一つです。透明質のモチーフ（ガラスや水など）の表現はもちろん、上の参考作品のように、時間の経過を表現するなどの応用が可能です。色の混ぜ方、濃度調整といった絵具の扱いもポイントとなります。

3D



使用画材・道具：
アクリル絵具

3
時間課題

色彩理論の基礎となる明度・彩度・色相について理解します。プロダクトデザイン、工芸といった立体系のデザイン科志望の方は必須です。満引き、烏口などの道具の扱い方もこの機会にしっかりマスターしておきましょう。

グラデーション(色彩構成道具)



使用画材・道具：
アクリル絵具


6
時間課題

にじみやぼかしを平塗りで表現するための技法です。手間のかかる技法ですが、進め方、コツを覚えておくことで色彩構成の表現の幅が格段に広がります。

【レギュラーコース】


入試体験 採点あり 「入試」で自分の作品はどう見える？




12月17日からの入試体験では、入試をイメージした採点を行います。入試の基準での採点をし、結果表をお渡しします。自分の目指すべき目標を明確にしましょう。



入試の基準による採点

作品の中でそれぞれの優れた点を示します。



受験生の授業風景

【全受講生】

学カスキャン 英語・国語 (合計60分)

冬期講習会中に、みなさん 参加者全員!! の学力をチェックします。
12月14日、一斉にスキャンを行います。都合がつかない方は冬期中の空いた時間に行います。



持参道具 ※初めての方はデッサンセット(鉛筆3本、練り消しゴム、カッター)がもらえます。

鉛筆デッサン	油彩	着彩	木炭デッサン	色彩構成	立体構成(塑造)
鉛筆 (6B~5H) 練り消しゴム カッター ガーゼ B3パネル 木炭紙大パネル 水張り道具※ フィキサチーフ クロッキー帳	油絵具各種 (24色以上) 筆各種 パレット ペインティングナイフ ペインティングオイル 筆洗器 雑巾 新聞紙 キャンバス (F15号)	鉛筆 (6B~5H) 透明水彩絵具 アクリル絵具 筆各種 パレット 筆洗器 水張り道具※ 木炭紙大パネル 雑巾	木炭 (ヤナギ炭) 練り消しゴム 食パン ガーゼ 擦筆 はかり棒 カルトン (木炭紙大) 芯抜き 目玉クリップ フィキサチーフ クロッキー帳	アクリルガッシュ (24色以上) 筆各種 パレット 定規 (45cm以上) コンパス 烏口 クロッキー帳 B3パネル 筆洗バケツ 水張り道具※ マスキングテープ	水粘土 (10kg) 粘土べら各種 新聞紙 雑巾 粘土板 (30×40cm) 霧吹き クロッキー帳

※水張り道具...水張りテープ、水バケツ、刷毛

学科力
確認



こちらからトーリン生向けのセットを購入できます。
世界堂さまサイトは「キーワード:トーリン」で検索してください。

ご不明な点がございましたら各校舎にお問い合わせください。